

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

エ ス デ ィ ー ジ ー ズ

SDGs

豊かで活力のある
「誰一人取り残さない」社会を
実現するための世界目標

閩政策企画課(☎826-1111 内線2425)

SDGsとは

SDGs(エスディー・ジー・ズ・Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。

「誰一人取り残さない」という理念のもと、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、世界を変える17の目標が掲げられています。

また、SDGsでは、17の目標のもとに、それぞれいくつかの具体的な達成項目をあらわしたターゲットや指標を定めています。

なお、国際条約ではないため、罰則や強制力はありませんが、国連に加盟するすべての国が全会一致で決議した約束事であり、各国が行動し、自ら努力して達成することが求められています。

国・市の取り組み

わが国においては、昨年12月、SDGsアクションプラン2020を策定しました。

その中に、「SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境に優しい魅力的なまちづくり」を位置付けるなど、地方公共団体においても、地方創生を通し、SDGsの達成に向けた取り組みを強力に推進することを求めています。

市では、市政運営の指針となる第8次土浦市総合計画を策定する際に、SDGsの理念・考え方を十分に踏まえ、各施策・事業の検討を行っていったことから、総合計画に掲げた各種施策・事業を着実に推進・実施することが、SDGsの目標達成につながると考えています。

また、第2期まち・ひと・しごと創生「総合戦略」においても、SDGsの理念・考え方を十分に踏まえながら検討を行いました。特に、戦略分野のひとつを「持続可能な地域の創造」とするなど、SDGsの考え方を十分に考慮しながら策定を進めているところです。

さらに、SDGsの達成に向けた情報交換や新たな連携創出の場として国が創設した「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会員として活動し、各種情報収集な

どに努めるとともに、そこで得た最新の動向などを出前講座などを通し、市民に普及啓発しています。

「誰一人取り残さない」というSDGsの理念のもと、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指すことは、「すべての市民の皆様へ寄り添った、市民くらし満足度ナンバーワン」の、あたたかさあふれる土浦市政の実現を目指すことにつながります。

市では、これまでに掲げた各種施策・事業を着実に推進・実施することで、SDGsの達成を目指します。

すべての人が当事者

SDGsは、国連や各国政府だけでなく、民間企業や金融機関、市民団体などのあらゆる組織、そして私たち一人ひとりが取り組む目標です。

立場や利害関係の異なる人たちが、SDGsという共通の目標に向け協力し、一人では解決できない大きな課題に取り組むとともに、すべての人が当事者意識を持ち、自分ができることを行うことがSDGsの目標達成につながります。

世界を変えるための17の目標



持続可能な社会のために誰にでもできるアクションガイド

SDGs(エスディージーズ：持続可能な開発目標)の実現には世界が力を合わせる必要があります。「世界を変えるなんて壮大すぎる」、「とても自分が関わることのできる話ではない」、そのように思っている方も多いのではないのでしょうか。しかし、変化は一人ひとりの行動から始まります。国連では私たちが日常生活で簡単に取り入れられる行動をアクションガイドとして公開していますので、その一部を紹介します。みんなが実践することで、世界は大きく変わります。

レベル1 ソファに寝たままできること

支払いはオンラインでしましょう。紙の節約になります。

使っていない電気機器の電源はこまめに切りましょう。



レベル3 家の外でできること

買い物はなるべく地元のお店でしましょう。

いつもマイバックを持ち歩くようにしましょう。



レベル2 家にいてもできること

食器の洗い方を見直すなど水の使い方を考えましょう。

食べ切れないものは早めに冷凍しましょう。



レベル4 職場でできること

通勤は自転車、徒歩または公共交通機関を利用しましょう。

誰もが働きやすい職場の環境を整えましょう。

